

第 1 回生徒による授業評価の分析

1. 学年毎の傾向（評価 3，4 の割合） ※網掛けは 80%未満のもの。

○1 年生

	A	B	C	D	E	F	G	H
国語	97%	96%	96%	87%	98%	92%	89%	98%
地理歴史	89%	76%	82%	86%	86%	76%	83%	91%
数学	77%	60%	62%	65%	71%	63%	87%	90%
理科	96%	88%	94%	90%	98%	92%	91%	96%
芸術	98%	89%	92%	76%	94%	93%	81%	97%
体育	91%	95%	95%	79%	95%	91%	87%	97%
保健	95%	89%	94%	79.7%	95%	85%	84%	95%
外国語	94%	81%	88%	92%	92%	88%	89%	94%
情報	98%	83%	92%	75%	95%	92%	87%	95%
総合	92%	91%	93%	97%	94%	91%	88%	91%

○2 年生

	A	B	C	D	E	F	G	H
国語	96%	89%	90%	88%	93%	88%	90%	92%
地理歴史	91%	85%	84%	88%	92%	84%	91%	94%
公民	99%	92%	96%	97%	100%	96%	89%	97%
数学	90%	70%	79%	78%	90%	86%	88%	88%
理科	92%	71%	83%	85%	92%	85%	85%	90%
体育	95%	99%	95%	97%	98%	93%	92%	99%
保健	97%	97%	95%	95%	97%	94%	88%	94%
外国語	94%	89%	87%	95%	89%	90%	95%	95%
家庭	96%	91%	91%	85%	95%	90%	88%	90%
総合	97%	94%	96%	97%	96%	95%	94%	93%

○3 年生

	A	B	C	D	E	F	G	H
国語	93%	86%	88%	74%	92%	88%	90%	91%
地理歴史	98%	86%	87%	96%	95%	88%	92%	95%
公民	96%	92%	96%	100%	100%	92%	92%	96%
数学	98%	83%	94%	79.8%	97%	95%	97%	97%
理科	97%	83%	91%	81%	95%	94%	92%	94%
体育	98%	99%	99%	93%	98%	98%	97%	99%
外国語	93%	81%	86%	85%	90%	86%	91%	92%
総合	94%	95%	94%	95%	95%	93%	95%	95%

※ A：授業の準備・教材の工夫 B：授業の充実感 C：授業の進め方
 D：生徒主体の授業の工夫 E：説明のわかりやすさ F：生徒への接し方
 G：学習への取組 H：態度・姿勢
 A～C：授業内容 D～F：指導方法 G～H：本人の取組状況

2. 学年毎の傾向の特徴

○全体的傾向

全体的には高い傾向にある。特に、「G：学習への取組」（以下 G）、「H：態度・姿勢」の評価はかなり高く、生徒の学習意欲は高い。特に G に関しては1年生、2年生、3年生の順に高くなっている。昨年度、第1回授業評価の8割以下は2年生6教科12項目、3年生4教科7項目であったが、今年度は、2年生2教科4項目、3年生2教科2項目と改善している。ただ、1年生においては6教科6項目から6教科12項目に増えており、改善が必要である。「D：生徒主体の授業の工夫」は、8割以下が昨年度は2年生5教科、3年生4教科であったが、今年度は2年生1教科、3年生2教科と改善傾向にある。ただし、1年生については、3教科から5教科と増えている。

したがって、昨年度の課題であった生徒主体の授業に関して改善に向かっていると見えるが、1年生ではまだ低い教科もあり、引き続き授業改善に努めていく必要がある。

○国語

全体的に高い傾向にある。特に1年生は9割台後半の項目が多い。課題であった「D：生徒主体の授業の工夫」においても1年生、2年生ともに高い評価である。ただし、3年生においては昨年度同様8割以下である。

○地理歴史・公民

全体的に高い傾向にある。特に3年生公民の「D：生徒主体の授業の工夫」は昨年度の62%から100%と高い評価になった。ただし、1年生において、「B：授業の充実感」「F：生徒への接し方」が8割以下になっている。

○数学

3年生においては、ほとんどの項目で昨年度より10%以上数値が上がっている。特に「B：授業の充実感」は昨年度の57%から83%、「G：学習への取組」、「H：態度・姿勢」は8割台から97%に急増している。2年生においても、課題は残るものの、全体的に上昇の傾向にあり、昨年度6割台であった「B：授業の充実感」「D：生徒主体の授業の工夫」は7割台に上昇した。ただし、1年生は昨年度8割以下が「B：授業の充実感」のみであったが、今年度はA～Fにおいて8割以下であり、全体的に改善が求められる。

○理科

全体的に昨年度より数値が高くなっている。特に1年生はほとんどの項目が9割台である。課題であった2年生の「D：生徒主体の授業の工夫」は10%以上上昇しており、改善が見られる。しかし、2年生の「B：授業の充実感」が7割台と課題が残る。また、「E：説明のわかりやすさ」が9割台であるが、それが「B：授業の充実感」に繋がっていない傾向が見てとれる。

○保健体育

全体的に高い傾向にある。2、3年生はほぼすべての項目において、9割台と高い評価である。ただし、1年生において、「D：生徒主体の授業の工夫」のみが体育79%、保健79.7%である。

○外国語

全体的に高い傾向にある。課題であった2年生の「B：授業の充実感」も昨年度75%から89%と上昇し、改善している。

○総合

全体的に高い傾向にある。2、3年生ともにすべての項目において、9割台であり、1年生においても「G：学習への取組」が88%で、それ以外のすべての項目で9割台と高い評価である。

3. 教科毎の傾向（評価3，4の割合）

	A	B	C	D	E	F	G	H
国語	95%	89%	90%	82%	94%	89%	90%	93%
地理歴史	91%	79.8%	83%	87%	89%	79.6%	86%	92%
公民	98%	92%	96%	97%	100%	96%	89%	97%
数学	85%	67%	73%	73%	82%	77%	89%	90%
理科	94%	81%	89%	87%	95%	90%	89%	93%
芸術	98%	89%	92%	76%	94%	93%	81%	97%
体育	94%	97%	96%	87%	96%	94%	91%	98%
保健	96%	93%	95%	87%	96%	89%	86%	94%
外国語	94%	83%	87%	91%	90%	88%	91%	94%
家庭	96%	91%	91%	85%	95%	90%	88%	90%
情報	98%	83%	92%	75%	95%	92%	87%	95%
総合	94%	93%	94%	96%	95%	93%	92%	93%

参考1（2015年 第1回 生徒による授業評価）

	A	B	C	D	E	F	G	H
国語	95%	85%	88%	73%	92%	86%	88%	93%
地理歴史	96%	84%	90%	88%	95%	86%	89%	94%
公民	98%	91%	96%	83%	99%	93%	92%	98%
数学	90%	68%	81%	74%	88%	83%	89%	91%
理科	93%	76%	89%	75%	90%	86%	88%	93%
芸術	97%	92%	93%	76%	93%	92%	81%	96%
体育	93%	95%	93%	85%	92%	91%	91%	96%
保健	95%	93%	92%	81%	95%	88%	85%	93%
外国語	94%	84%	88%	90%	92%	87%	91%	92%
家庭	96%	89%	93%	77%	96%	83%	85%	93%
情報	99%	89%	95%	77%	97%	95%	88%	95%
総合	88%	91%	91%	93%	91%	84%	84%	91%

参考2（2015年 第2回 生徒による授業評価）

	A	B	C	D	E	F	G	H
国語	95.2%	88.4%	91.5%	76.9%	94.2%	88.2%	87.8%	92.3%
地理歴史	95.9%	87.9%	91.1%	88.9%	96.8%	89.2%	88.6%	94.2%
公民	98.1%	91.6%	96.7%	79.4%	99.5%	94.9%	92.1%	97.2%
数学	93.3%	71.3%	83.4%	79.3%	91.7%	84.7%	89.3%	90.6%
理科	94.8%	80.1%	88.4%	79.7%	91.0%	88.0%	87.6%	91.1%
芸術	97.4%	96.1%	95.3%	92.7%	97.9%	96.1%	93.6%	97.4%
体育	96.4%	98.9%	96.7%	89.8%	96.4%	95.6%	96.4%	96.7%
保健	95.5%	93.6%	92.5%	92.1%	96.1%	87.8%	86.9%	94.4%
外国語	95.5%	85.0%	88.5%	95.0%	93.2%	90.6%	89.4%	92.3%
家庭	95.1%	95.6%	94.2%	81.9%	93.4%	88.9%	88.9%	91.6%
情報	99.5%	88.9%	93.1%	80.4%	96.3%	94.2%	88.9%	98.4%
総合	89.7%	92.4%	91.3%	93.9%	91.7%	87.1%	87.7%	91.6%

4. 教科毎の傾向の分析

○授業内容

「A：授業の準備・教材の工夫」

どの教科も、高い評価を得ている。授業改善を日ごろから念頭に置いて教材研究が行われている成果であると思われる。

「B：授業の充実感」

理科が昨年度の第1回授業評価の76%から81%に上昇した。数学は昨年度第1回授業評価とほとんど変わらず、課題が残る。また、地理歴史も昨年度8割台から7割台に下降しており、改善が求められる。

「C：授業の進め方」

全体的に高い傾向にある。昨年度も高い傾向にあったが今年度は9割後半が多い。ただし、数学は昨年度の8割台から7割台と下降しており改善が求められる。

○指導方法

「D：生徒主体の授業の工夫」

8割以下が昨年度の第1回授業評価は6教科に対して、今年度は3教科と改善が見られる。これは、本校がこれまでに「思考力・判断力・表現力等」の育成を図って授業改善を進めてきた成果であると考えられる。

「E：説明のわかりやすさ」

全体的に高い傾向にある。特に公民は100%であり、地理歴史、数学以外は9割台である。

「F：生徒への接し方」

昨年度はすべての項目で8割以上であったが、今年度は地理歴史、数学で8割以下である。

○本人の取組状況

「G：学習への取組」

全体的に高い傾向にある。特に「総合的な学習の時間」は昨年度第1回授業評価84%から92%と上昇している。これからも生徒が授業に主体的に参加していくような授業の工夫が必要であろう。

「H：態度・姿勢」

すべての教科において、9割台であり、全体的に高い傾向にある。